

滝沢市

TAKIZAWA CITY

と・か・い・な・か
滝沢市



都会と田舎、どちらも捨てがたい？

—その答えは『滝沢市』にありました

岩手県の中央部に位置する滝沢市は、自然豊かな環境と都市の利便性を兼ね備えている、まさに都会と田舎が共存する「とかい+いなか=とかいなか」です！

市東部には、大学や研究機関が集まっており都市化が進んでいるほか、電車やバスなどの公共交通機関も整っているため、市街地へのアクセスがしやすい環境となっています。

また、市北西部には岩手山が美しくそびえ立ち、市周辺を栗石川・北上川が流れ、自然を身近に感じることができます。

市の特産品である「滝沢スイカ」「滝沢かんしょ」「滝沢りんご」をはじめ、水稲・野菜・酪農などを主体とした都市近郊型農業地帯が広がっています。四季折々の風景の中で作物を育てる充実感や自分自身が経営者として新しい挑戦をする醍醐味をぜひ滝沢市で体感してみませんか！

滝沢市が全力でサポートします！



STEP 1 就農相談

「滝沢市で農業を始めたい!」「滝沢市の農業に興味がある!」という方は滝沢市農林課までご連絡ください。相談日の日程調整をいたします。

相談の際には自身の目指す農業のイメージや方針を大まかに描くことが大切です!

WHERE どこで?	就農希望地
WHAT 何を?	希望作目 (稲作、野菜、果樹、畜産等)
How どのように?	慣行農業、有機農業等
WHO 誰と?	一人、夫婦、家族等
WHEN いつから?	2年後、3年後等

滝沢市新規就農メンターもサポートします! 詳しくはP.7へ

農業における夢、疑問、不安など、ぜひご相談ください!



STEP 2 研修

取り組みたい作目が決まったら、専門的な栽培技術や農業経営などを学ぶことができる研修を受けましょう。特に、ゼロからスタートする新規就農者は一般的に2~3年の研修が必要とされています。

岩手県では「新規就農者受入経営体」に登録されている県内の先輩農業者のもとで研修を受けることが可能です。農業を始めるためのノウハウを着実に身につけましょう。



STEP 3 準備

農業経営を始めるには、経営計画の作成が必要不可欠です! 生産、販売、資金、経費などあらゆる観点から計画を立てなければなりません。また、経営資源の準備も併せて行いましょう。

農地

希望条件(土地・面積・排水・日照等)に合う農地を見つけましょう。農地の購入や借入の手続きは滝沢市農業委員会の許可が必要となります。

施設

ビニールハウス・作業小屋・農機具小屋等を確保しましょう。

機械

自身の経営に必要な機械を確保しましょう。作目によって必要な投資金額が異なります。現在の農業は施設化・機械化が進んでおり、多額の資金が必要です! 中古品の購入やリースなども視野に入れ、経費負担を抑える方法も併せて検討しましょう。

資金

資金(自己資金、融資、補助金)の確保を行いましょう。就農当初は生活資金を含めた初期費用が必要です。経営を安定化させるため、余裕を持った資金の準備を進めましょう。

農林課では計画書の作成をサポートします! ぜひ、ご相談ください!

STEP 4 独立就農

いよいよ独立就農スタートです! 滝沢市では国が実施するさまざまな支援が受けられる「認定新規就農者」の認定を行っています。認定に至るまでの道のりもサポートいたします。

就農後も経営課題や農地・資金の手続きなど、幅広くご相談ください。滝沢市と一緒により良い農業経営を目指しましょう!

滝沢市なら安心!!

独立就農後もあなたの夢を応援します!

4

認定新規就農者制度

手厚いサポートが受けられる♪

「認定新規就農者」になるためには、新規就農希望者が「青年等就農計画」を作成し、市町村より認定を受ける必要があります。認定を受けると国が実施する補助や、融資への支援などを受けることができます。青年等就農計画は5年後までに達成可能な目標を明記するため、今後農業に取り組む際の一つの指標となります。

認定新規就農者が活用できる補助金等は、農林水産省HPで最新版をチェック!



〈対象者〉

新たに農業を営む方であり、以下に当てはまる方が対象となります。

- ・青年(原則18歳以上45歳未満)であること。
- ・特定の知識・技能を有する中高年者(65歳未満)であること。
- ・上記の者が役員の過半数を占める法人であること。
- ・農業経営を開始して一定の期間(5年)を経過しない者であること。
- ・認定農業者は含みません。

いずれかに当てはまる方

〈認定の流れ〉

新規就農希望者が「青年等就農計画認定申請書」を作成し、市町村へ提出

市町村において審査会を実施、面接をし、審査の上で認定

認定後、市町村から認定者へ通知し、市長より認定書の交付

県関係機関及び市町村により計画達成に向けたフォローアップを実施

農業経営を始めるにあたって、営農計画の作成はとても重要です。自らの経営イメージに沿った資金や労働力・施設設備などを考慮し、計画を作成することで自身の目指す経営ビジョンが明確になります。就農開始から5年間の営農計画を作成し、安心して農業経営の第一歩を踏み出しましょう!



生産計画



どんな作目をどのような栽培で、どのくらいの農地面積で、生産していくのか? 作目毎に作業時間も異なるため、労働力も考慮しながら慎重に計画を作成しましょう。

販売計画



生産した農産物等をどこへ、どのくらいの価格で販売するのか? 販売方法によって、手数料や包装費用が異なるため、出荷に係る流通経費等を調べて計画しましょう。

資金計画



どれくらいの資金が必要か? 経営資金と生活資金を区別し、資金の借入れや補助制度の活用時期等も念頭に置いて検討しましょう。

収支計画



農業所得がどれくらいになるのか? 収量・単価から算出する「売上」から資材費等の「経費」を差し引いて計算し、計画を立てましょう。

設備投資計画



施設や機械をいつ頃導入し、活用する資金は何か? 今後の見通しをもって余裕のある計画を立てることが必要となります。

営農計画作成が大切です!

どんな作目がおすすすめ?

営農モデル紹介

滝沢市内で展開している経営事例に基づいた営農モデルをご紹介します。

「滝沢スイカ」

【経営規模】畑70a 労働力2人
【機械・設備】トラクター・動力噴霧器・軽トラック・作業舎等
【経営収支の目安】売上高:875万円 経費:500万円 所得:375万円

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		畑準備	定植			収穫					

岩手県内
1位の生産量!
滝沢市の特産品
です!



「滝沢かんしょ(サツマイモ)」

【経営規模】畑100a 労働力2人
【機械・設備】トラクター・管理機・堀り取り機・軽トラック・作業舎等
【経営収支の目安】売上高:200万円 経費:116万円 所得:84万円

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		育苗	定植		除草			収穫			

滝沢市の特産品です!
焼き芋や干し芋など、加工品にも
適しています!



「ネギ」

【経営規模】畑150a 労働力2人
【機械・設備】トラクター・育苗ハウス・定植機・動力噴霧器・収穫機・収穫調整機・作業舎等
【経営収支の目安】売上高:1,000万円 経費:750万円 所得:250万円

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	育苗		定植		追肥・土寄せ			収穫・調整			

新規就農者
に人気!



滝沢市鶴飼花平の広大な敷地で酪農を営んでいるのは、セブンスヘブンファーム代表の鈴木稔さん。戦後開拓で滝沢市にきた祖父が始めた酪農も稔さんで3代目。「長命連産」を目標に掲げた酪農経営をしています。

今に繋がる父の存在

昔は正直、酪農に対する意識は高くなかったのですが、毎日父と仕事をしていく中で「父を超えたい」という思いが強くなりました。今の自分は酪農をする上で恵まれた環境にいると感じるようになり、そこから酪農に対する意識が変わりました。

仕事との向き合い方

就農当時は何をすることも大変だと思いにしかなりませんでした。ですが、大変だと思ふことを大変だと思わないように、何か違うことに置き換えて楽しむようになってきましたね。自分は元々調理師になりましたからという思いもあったので、今は自分は牛の調理師だと思つて仕事をしています。視点を変えて楽しむことが大切だと思っています。

滝沢市新規就農メンター制度

先輩農業者に相談できる♪

滝沢市では、新規就農希望者が市内で農業を営む先輩農業者に相談することができる「滝沢市新規就農メンター制度」を設けています。市が「滝沢市新規就農メンター」として認定した農業者が、就農に向けた相談に乗ってくれます！就農する際の様々な不安や悩みを相談してみませんか？認定したメンターのうち、4名の農業者をご紹介します！

滝沢市新規就農メンター紹介



【スイカ農家】
駿河 慎吾さん

気軽になんでも
ご相談ください！
お待ちしております
おります



【ネギ農家】
田沼 和俊さん

ネギのことなら、
なんでも相談
してください！



【酪農家】
鈴木 稔さん

酪農家を
目指している方は
ぜひ相談に来て
ください！



【スイカ・サツマイモ農家】
駿河 俊也さん

「農業でどんなこと
をやってるんだろ？」
みたいな感じで
相談ください！

この制度を活用することで、自身が実際に就農する際の具体的なイメージを持つことができ、さらに地域の先輩農業者とのつながりも築くことができます！滝沢市で就農を検討している方は、この機会にぜひご活用ください！

新規就農者受入経営体とは…

岩手県では新規就農希望者の研修を受け入れる農業者を「新規就農者受入経営体」として登録しています。各市町村の先進農家が受入先として登録されており、就農希望者がスムーズに農業技術や経営について研修を受けられる環境が整っているので、実際の農業現場で学びながら技術の習得が可能です。また、受入経営体で研修を受けた方に対しての支援制度もありますので、ぜひご活用ください！

研修先でも安心♪



農業は生きる糧

牛を育てるのがとにかく楽しいので、趣味と仕事が一体化している感覚です。退職がなくて自分が元気な限り続けられるのが農業の良いところだと思います。仕事を通じて、誰かのために何かをやる喜びが生きがいにつながると感じています。

滝沢市の農業環境

酪農家としては、農業高校や研究機関、機械業者など、酪農の関係機関が近くにあり、何かある際は、相互に連携を取りやすいと感じています。滝沢市ほど酪農の関係機関がある地域ってないんじゃないかと思えます。

すべてを糧にして
目指すは酪農家の頂点

牛の大会に必ず出場できるように牛の世話に励んでいます。牛のいろいろな部分で審査されるので、どうしたら美牛に成長するのかを考えながら世話をするのが楽しいです。また、6次産業化についても、積極的にチャレンジしたいと考えています。自分の農地を利用してレストランを作り、その周りを畑にして、希望する人に貸して、そこで穫れた野菜をレストランで買取れるようなくみを構想中。人が集まる地域を目指して、これからも頑張ります。

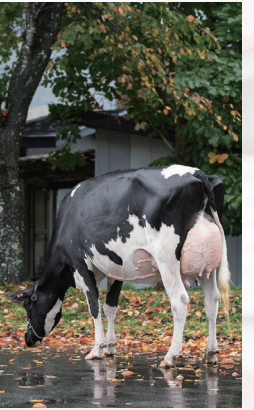


稔さんの話

農業 + 夢 = 生きる糧

鈴木 稔
SUZUKI MINORU

これから
農業を
始める方へ



地域を守るのは農家の役割だと思っています。朝から夜までその場所で働いて生活しているので、これから就農する人にもそういうマインドは持ってほしいなと思います。人生を振り返った時にあの時やっておけばよかったと後悔する人よりも、やって失敗した人の方が後悔する人が少ないそうです。人生は一度きりですし、やらずに後悔するよりはチャレンジした方がいいと思います。やってみたいと思うなら、そのことを口に出していくこと。人に話すと、何年か後にはその方向に近づいていくはず！夢を実現するために、ぜひ滝沢市に相談してみてください！

ワイン用のブドウ栽培を営んでいる株式会社八瀬葡萄酒代表取締役の山田直輝さん。若手県盛岡市出身で現在は滝沢市に拠点を置いて、自らの手でブドウ栽培からワイン造りまで行うブドウ農家です。

ワインに惹かれた理由

東京農業大学時代、ワイナリーの収穫祭に参加した際「日本酒やビールは綺麗な水が必要であるが、ワインは原料となる糖分と水分をブドウからまかなうことができる」と聞きワイン造りの魅力に気づきました。その後、滋賀県のワイナリーに就職し、ワイン造りを8年、基本から学びました。

滝沢市を選んだ理由

滝沢市であれば、寒冷地ではあるけれど、ブドウ栽培ができる環境があるのではないかと期待がありました。選んだ畑が南面の斜面でよく日の当たる場所だったので、ブドウにとって適した環境だと感じ、滝沢市で就農したいと思いました。

滝沢市の中心部で畑作を営んでいるのは、駿河農園ベジスル代表の駿河俊也さん。もともとは稲作が中心の農家で、俊也さんで5代目。現在はスイカとサツマイモを中心に栽培し、6次産業化や農福連携にも取り組む専業農家です。

専業農家としての決意

20代は会社員として働きながら農業もする兼業農家でしたが、30代に突入したときに、今後このままでいいのか悩むようになり、今後はこのままがいいのか悩むようになり、人生一度しかない農業にトライしたいという思いが強くなりました。2015年に専業農家に転身し、そのタイミングで農作物をスイカとサツマイモをメインに切り替えました。特にスイカは、年々生産する人が少なくなっていく地域の現状を知っていたので、地域活性化という意味でも何とかしたいと思ったからです。また、農業できちんと家族を養いたいと思い、滝沢市の特産である、スイカ、さつまいもの畑作を拡大させることに決めました。

【俊也さんSNS】

Instagram: @tosiyasuruga

facebook: 駿河俊也



駿河 俊也

SURUGA TOSHIYA

これから農業を始める方へ

農業の担い手が不足している今だからこそ、農業にチャンスがあるのではないのでしょうか。滝沢市であれば行政・立地的にも多くのメリットを感じることができると思います。行政のバックアップがあるのは心強いですし、これからの方にも安心ですね。

もし、これを読んでいる方が滝沢市で就農するときは、同業者として何かできることを協力したいと思っています。

若い生産者もたくさんいるので、ぜひ滝沢市で就農してみませんか！



山田 直輝

YAMADA NAOKI

これから農業を始める方へ

農業を始める際、多くの人が何に悩むべきかさえ分からず、不安を理由に断念することが多いと感じています。ですが、農業はやり方次第でしっかり生計を立てていける仕事だと思っています。重要なのは、農業でその土地にどのように貢献できるかを考える姿勢です。地域に貢献することで感謝の気持ちをもらえるのは、どんな仕事にも共通することだと感じています。情報収集や人との縁を大切に、それを怠らなければ農業は十分に成り立つ仕事だと思います。不安は自分の足で解決できるので、ぜひ一度滝沢市に足を運んでみてください！



農業+ワイン=人生



就農3年目の成果

滝沢市でのブドウ栽培は無理ではないと考えてはいたものの、市内にブドウ農家があり居なかったのが不安でしたが、無事に収穫を迎えられました。自分が選んだ畑の選択が間違っていなかったと自信になりましたし、滝沢市の支援も受けられたので、「ここに就農して本当によかったです。」

美味しさへの追求

農業を土台としてワイン造りをしていきます。自分でブドウから栽培することによってワインの美味しさを追求でき、よりこだわることができています。

滝沢市一貫醸造

オリジナルワイン

2027年には、自社のワイナリーを取得することを目指しています。5年以内にさらに農地を拡張させて、ワイナリーを安定させたいと思っています。2034年には、6ヘクタール程度まで栽培ができる、ブドウの種類ごとにパラエティに富んだワインが造れると想像しています。楽しくワインを造りながら飲んで満足できるワインを目指して頑張ります。



直輝さんの話

農業を仕事にしたライフスタイル

季節ごとに作業量は変わるものの、比較的自由に仕事をしています。子どもの行事にも気兼ねなく参加できたりするので、子どもと一緒に過ごす時間が増えました。そういう部分が農家の良いところだと思います。

滝沢市での農業

農作物の販売先に困らないのが魅力と感じます。半径7〜8kmには必ずスーパーがあり産直組合と契約さえすればそこに出荷できる、その上輸送コストもかからない。歩けば必ず売り場があるというのは滝沢市の強みだと思います。

農業から広がる

ビジネスや地域づくり

6次産業化として、スイカの缶詰などを商品化しました。仕事ではありませんが、加工品は「遊び感覚」で楽しみながら取り組んでいます。スイカの缶詰は完成までに4年を費やした大作です。また、農福連携としてベジスルから福祉施設へスイカやサツマイモのノウハウ、福祉施設からベジスルへ長ネギのノウハウを教え合っています。お互いの収益力アップを目的に頑張っています。



俊也さんの話